

国際極地の日 — 極点上空

2008年12月4日

誰が：

教師、学生、生徒、研究者、芸術家、旅行者など、極域に関心を持つすべての人がこぞって

何を：

国際極年の一環として、極点上空に焦点を当てた世界的な企画を

なぜ：

国際極年の期間には、数万人におよぶ世界中の科学者や技術者が極域の研究を行なっている。国際極地の日を機会に、その活動状況を知り、間接的に国際極年に参加するため

どこで：

世界中の学校や、教育関係のセンター・団体で

いつ：

2008年12月4日（木曜日）から1週間

どのように：

1. 次ページに書いた実験をしてみよう。IPYのWEB (www.ipy.org) に載っている様々な活動もしてみよう。
2. IPYのWEBで「バルーン」を揚げて、あなたの存在を示そう。
3. バルーン打ち揚げページを時々開いて、世界の他の地域でもバルーンつまり仲間がどんどん増えていくのを眺めよう。
4. ライブの催しで研究者と話そう。
5. 極域科学について学ぼう。「極地大使」になろう。次回以降の国際極地の日にも参加しよう。

極点上空について、もっと知りたい方は、英文ですがWEBをご覧ください。
www.ipy.org



国際極地の日 — 極点上空

極端な低温、猛烈な風、冬季の暗闇で特徴付けられる極地の天候は研究者にとって、今日もなお、観測をする上での障害であり脅威である。地球規模で考えると、極域は私たちの気候システムの中で重要な冷却過程を担っている。南極・北極の天候は熱帯地方の天候にまで関連している。雪や氷で覆われた地表上の大気は特有の性質を持つ。雪や氷の中の独特の反応が連鎖し、極地大気の化学組成に影響を及ぼしている。両半球のオーロラは、超高層大気中における惑星規模地磁気現象の一端を窺わせる。

気象観測実習

世界中に展開した自動気象観測機器や有人観測所は、毎日、気象データを取得し、世界ネットワークを介して、それを共有している。予報センターはこの観測結果を用いて、世界規模の、地域の、そして、局地の天気予報を発表している。こういった天気予報の精度は、極域における気象観測の精度に依存する。

あなたの住んでいる場所の今日の気象を観測しよう：

1. 気温：温かい、寒い？ 何℃？
2. 降水：今、雨か雪が降っていますか？
3. 風：無風ですか、風が吹いていますか？風速を測りましたか、それとも樹木や旗を観察して推定しましたか？
4. 視界：どのくらい遠くまで（単位＝m）見えますか？
5. 雲量：雲の無い空が見えますか、それとも空と雲の両方ですか、あるいは、雲だけが見えますか？

実習手順：

- 1) IPY のWEB (www.ipy.org) で「バルーン」を挙げて、あなたの観測した気象状況をそこに書き入れよう。
- 2) WMO の世界気象図 (<http://www.worldweather.org/>) とバルーン地図を用いて、あなたの居る場所の気象を比較しよう：北極の気象、世界の他の場所の気象や、世界中の学校で観測した気象などと比較しよう。

考察：

- 1) あなたは、気象変化にどのように対応していますか？ 服装を変えますか？ 交通手段を選びますか？暖房や冷房に切り替えますか？
- 2) 観測結果から、どのような季節変動がわかりますか？局地的に影響を及ぼしている要因についてわかりますか？あなたの居住地と北極のちがいがわかりますか？

世界や北極の気象情報は <http://www.worldweather.org/> を見てください。